

酒造好適米「福乃香」の精米品質を考慮した生育の目安

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

水稻－水稻－生育診断予測

2 担当者名

濱名健雄

3 要旨

本県の酒蔵の多くが全国新酒鑑評会出品酒に「山田錦」を用いているが、高度精白可能で大吟醸向けの本県育成酒造好適米品種「福乃香」において同等の精米品質を目指すための生育の目安を明らかにした。

- (1) 「山田錦」の白米タンパク質含有率 4.1%(70%精米時)を目標とした場合、「福乃香」の玄米タンパク質含有率の目安は 7.2%(乾物換算、水分 15%換算で 6.1%)であった(表 1)。
- (2) 玄米タンパク質含有率の目安を満たすための幼穂形成期の葉色は、SPAD502 値で 36 以下が目安となる(図 1)。
- (3) 移植時期を 6 月第 1 半旬に遅らせた場合、白米タンパク質含有率の目安を満たすことはできなかった。

表 1 福乃香の生育の目安

時期	項目	目安
収穫期	白米タンパク質含有率(%)*1	4.1以下
	玄米タンパク質含有率(%)*2	7.2(6.1)以下
	整粒歩合(%)	80
	登熟歩合(%)	85
幼穂形成期	葉色(SPAD502値)	36以下
	草丈(cm)	60-65
	茎数(本/m ²)	440-600

*1：(見かけの)精米歩合70%、乾物換算

*2：玄米篩目2.0mmで調整、乾物換算

カッコ内は水分15%換算

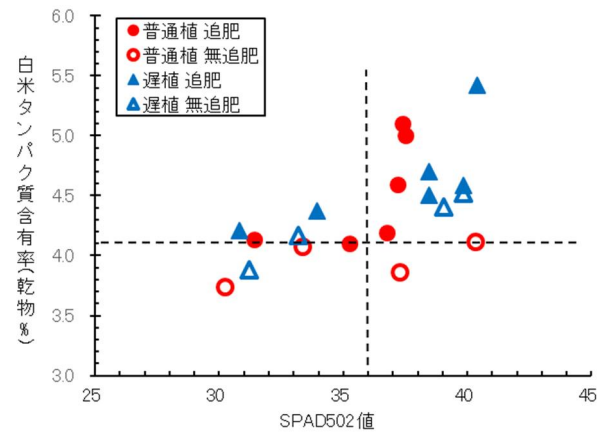


図1 幼穂形成期の葉色と白米タンパク質含有率

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和 3～5 年度
- (2) 研究課題名 オリジナルふくしま水田農業推進事業

5 主な参考文献・資料

- (1) 佐藤晴菜, 佐藤弘一, 遠藤わか菜, 吉田直史, 笹川正樹, 菅野拓朗, 新妻和敏, 高橋元紀, 菅野史佳, 「福乃香(福島酒 50 号)」の栽培法、2019 年、実用化情報